

狛江市における小児期からの健康づくり
に関するコーホート調査
調査7年目の居住状況
(小児期からの成人病予防に関する研究)

住友眞佐美¹⁾

1) 東京都衛生局健康推進部母子保健課

要約：小児期からの総合的な健康づくりのあり方を検討するために、平成4年度、8年度に、コーホート調査として生活習慣に関するアンケートを行った。今後のフォローアップスタディのために、平成11年1月1日現在の居住状況の確認を行ったところ、平成4年度回答者数474人のうち、現在も狛江市に居住しているのは307人(64.8%)であった。このうち、平成8年度調査に回答の得られた144人のうち、引き続き狛江市に居住しているのは121人であった。

A 調査目的

小児期からの総合的な健康づくりのあり方を検討するために、東京都狛江市で生活習慣・食習慣に関するコーホート調査を開始した。調査対象者は、平成元年～平成2年4月1日生まれの子どもで、第1回調査(3歳)は平成4年度に、第2回目調査(小

学校入学時)は平成8年度に実施しており、その結果の概要は本研究班報告書に示した。

今年度は、今後の継続調査の準備として、コーホートの対象となっている児童の居住状況の確認を行った。

B 調査方法

住民基本台帳を確認することにより、コーホート対象児童の平成11年1月1日現在の居住状況について確認を行った。

C 調査結果

第1回調査(平成4年度)で有効回答が得られた474人のうち、平成11年1月1日現在狛江市内に在住しているのは307人(64.8%)であった。昨年同時期から2人が市外に転出している。

また、平成8年度に実施した第2回調査で回答が得られた144人のうち、現在も狛江市に在住しているのは121人(84.0%)である。

D 考案

昨年までの調査では、毎年10%程度の転出がみられたが、今年度については昨年から2人(0.7%)の転出にとどまった。来年度は、対象者が小学校4年生になり第3回調査を計画しているが、コーホートとして継続して調査が可能なのは121人程度となる見込みである。



要約:小児期からの総合的な健康づくりのあり方を検討するために、平成4年度、8年度に、コホート調査として生活習慣に関するアンケートを行った。今後のフォローアップスタディのために、平成11年1月1日現在の居住状況の確認を行ったところ、平成4年度回答者数474人のうち、現在も狛江市に居住しているのは307人(64.8%)であった。このうち、平成8年度調査に回答の得られた144人のうち、引き続き狛江市に居住しているのは121人であった。